

平成22年度 実践道場「川上から川下まで」
～木材・造園資材の育成・管理と流通及び加工技術を学ぶ～

日時	研修先	概要
6月4日 (金)	婦負森林組合:山林 ＜富山市割山＞	●森林と樹木の生育現場を見学し、森林・樹木の育成・管理や森林の公益的機能などについて学ぶ。特に、植林・雪起し・下草刈り・除伐・間伐の育林サイクルに合わせた管理方法を学ぶ。
	婦負森林組合:木材加工センター ＜富山市八尾町城生＞	●富山県産材の製材加工や高周波減圧乾燥と自然乾燥など、地域材の付加価値を高める技術について見学して学ぶ。
	富山県中央植物園:ドリアスホール 【職藝学院 実物教材】 ＜富山市婦中町上轡田＞	●建築職藝科の建築・家具・建具の実物教材である木造平屋建てドリアスホールについて、その木組みによる伝統構法と県産杉材の加工技術と様々な使い方を学ぶ。
	富山県中央植物園 ＜富山市婦中町上轡田＞	●世界の植物を一同に栽培・管理する日本有数の植物園で、様々な植物が環境に適応して生きる実態を研修する。特に24.5haの広大な敷地の回遊式庭園の中で各国の植物を観察する。
	立山山麓森林組合:木材加工場 ＜立山町下田＞	●土木を中心とし、庭園・建築用も加えた各部材の生産状況を知り、特に杭や遊具等に用いる間伐材の小径木丸棒加工とその防腐剤加圧注入の過程を学ぶ。
	森林研究所・樹木園・林業カレッジ ＜立山町吉峰＞	●林業に関する最先端技術、整備された樹木園、併せて林業における高性能機械のオペレーション教育とその整備について学ぶ。
6月16日 (水)	北山ナーセリー富山 ＜富山市有沢＞	●園芸・ガーデニング、造園設計・施工、生花・各用品販売、植物及び資材生産・加工などを行い、花と緑を通じて豊かなグリーンライフを提案し、園芸文化の向上を目指す園芸業について学ぶ。
	田園住宅開ヶ丘・職藝学院開ヶ丘キャンパス 【職藝学院 実物教材】 ＜富山市開ヶ丘＞	●新集落「田園住宅開ヶ丘」を見学し、これからの住宅づくり・街づくりを学び、景観づくりの中で隣接する職藝学院との関りを考える。またスローライフを提案する現地NPO法人の活動を知る。
	富山産業株式会社 ＜射水市堀江＞	●最盛期には取扱量が40万立米の、富山新港におけるロシアなど北洋材を中心とする外材の荷下ろし・皮剥ぎと陸上貯木およびJAS検量や燻蒸処理などの管理について学ぶ。
	ラミネートラボ株式会社 ＜富山市草島＞	●米松や北洋材ラミナなどによる大断面集成材の製造と施工の流れを知り、集成材・大断面集成材・LVL(単板積層材)などの乾燥・ジョイント・接着など、その加工技術と流通・販売について学ぶ。
	富山市東岩瀬まちなみ【職藝学院 実物教材】 ＜富山市東岩瀬＞	●江戸時代、北前船で栄えた富山湾に面した東岩瀬地区のまちなみ復元整備を学ぶ。この整備には本学院も中心的に関わり、JR富山駅からの低床型ライトレールの開通で脚光を浴びている。
	富山県森林組合連合会 林産物流通センター ＜富山市八町＞	●富山県産木材の市場。材積の考え方、丸太材の見方、セリによる原木価格の決め方、及びそれら原木や製品とその販売等の流通の実態について学ぶ。
7月2日 (火)	H邸庭園【職藝学院 実物教材】 ＜富山市吉倉＞	●環境職藝科の実物教材としての個人庭園。周辺環境と作庭コンセプト及び設計と施工(実習)の関係を学ぶ。四季に色づく植栽、借景としての立山連峰、雪下しと避難への配慮、バリアフリーなど。
	チューモク株式会社 ＜南破市野原・立野原＞	●構造用材の製造技術、加工、販売及びチップ工場の近代的なバーク堆肥製造の実態を学ぶ。
	チューモク株式会社:プレカット工場 ＜南破市前田＞	●含水率管理を行いながら、柱加工機・横架材加工機・羽柄材加工機などの最新鋭プレカットシステムのライン構成とその加工技術、及び部材販売の実態について学ぶ。
	富山県農林水産総合技術センター ・木材研究所 ＜射水市黒河新＞	●木材の総合的利用状況と木材加工・木造建築技術の試験研究および先端技術開発の実態について学ぶ。加震機による動的試験や反力壁・反力床による静的試験の意義と方法を知る。